



シュワルツェネッガー

氏名:ゴードー・ブルーアー

職業:消防士

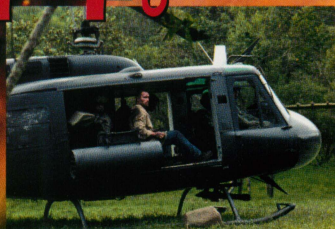
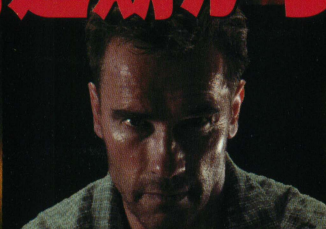
妻子:国際テロのビル爆破に
巻き込まれ死亡

アメリカ合衆国は“目的のための犠牲”
という大義によりその事実を、黙殺。
コラテラル・ダメージ

アメリカ合衆国は“目的のための犠牲”
という大義によりその事実を、黙殺。

COLLATERAL DAMAGE

公開延期から半年。



シュワルツェネッガーのあの映画が、 ついに公開決定!!

シュワルツェネッガー

コラテラル ダメージ

『逃亡者』の名匠アンドリュー・デイビスと組んでおく

最高級のアクション・スペクタクルが今、その全貌を現す!

昨年10月6日の公開延期から約半年。あの超大作がベールを脱ぐ日がついにやってきた。監督は『逃亡者』のアンドリュー・デイビス。国際テロに妻子を奪われた消防隊員が命をかけてテロリストを追いつめる、一大アクション・スペクタクルだ。あっと驚く意外などんでん返しが次々に起こる、息つく間もない追跡劇は、アンドリュー・デイビス監督が最も得意とするところ。しかも本作はあのシュワルツェネッガーの記念すべき30本目の出演作だ。彼自身が持つ数多くのヒット作を超える、最新にして最強のエンターテインメントが誕生した。



失うものは、もう何もない。愛するものはすべて奪われた——。

テロで妻子を亡くした消防士が、たった一人、体一つで強大な敵に立ち向かう!

消防士のゴードー・ブルーアー(アーノルド・シュワルツェネッガー)は、コロンビアのテロリスト“ウルフ”による爆破テロで最愛の妻と息子を亡くす。ゴードーは犯人を目撃していたが、CIAもFBIもその男を追おうとしない。いったいなぜ……!?!「きみの家族より、アメリカの国益の方が大事なんだよ」。それは、大きな目的のために多少の犠牲はやむをえないという考え方＝“コラテラル・ダメージ”の原則だった。それならば、自分自身の手で真相を暴き、テロリストを裁いてみせる!

怒りに燃えるゴードーは、たった一人、地の果てまでもテロリストを追うことを誓う。コロンビアの密林、市街地、国際テロ集団のキャンプ……二転三転する追跡劇の果てに、彼がたどり着いた、恐るべき真相とは——!? この作品でのシュワルツェネッガーは、超人的な英雄でもなく、マシンガン操縦の戦闘のプロでもない。彼の武器は、生身の身体と、消防士としての経験だけ。30作目にして原点に戻ったシュワルツェネッガーのリアルなアクションが冴え渡る、今年最高の一大アクション娯楽作だ。

**COLLATERAL
DAMAGE**

陽春ロードショー!!